

ならしの 習志野教育だより

発行・編集 習志野市教育委員会 ☎ 047-451-1151（代表）

Narashino Municipal Board of Education

桜の花咲き誇る中 令和8年度スタート！



（袖ヶ浦西小学校）



（習志野高等学校）



（谷津幼稚園）



（第五中学校）

Contents

今年度も習志野の教育を幅広く紹介し、内容のさらなる充実を図りながら、「習志野教育だより」を発行してまいります。昨年度に引き続き学校教育について紹介するとともに、生涯スポーツや社会教育についても紹介する予定です。

第151号では、入園式や入学式の様子、新任の校長先生、教頭先生、新規採用教職員の決意表明、抱負などを紹介いたします。（文責 教育総務課 河野）

・入学式・入園式の様子	P1
・教育長 巻頭言	P2
・新任校長先生の決意・抱負	P3
・新任教頭先生の決意・抱負	P4
・新規採用教職員（小・中・高）意気込み	P5～
	P6
・機構改革（児童生徒指導課）	P7
・習志野市芸術文化協会 第42回芸術祭	
・表敬訪問	P8
・少年野球新人大会（兼）スポーツ少年団軟式野球大会	
・第一カッターフィールドリニューアル	

第 151 号

2026年4月

テーマ

「新年度の抱負」（新任校長、新任教頭、新規採用教職員の抱負）

【習志野市ホームページ】 習志野教育だよりはこちらからご覧いただけます



つながりが 未来を創る 習志野の教育

習志野市教育委員会教育長 小熊 隆



本市では令和8年度から、新たな習志野市基本構想「多彩で豊かな交流が広がるまち 習志野」が始まりました。これは令和23(2041)年度までの16年間の本市の方向性を決めるものであり、具現化のために、教育がなすべき課題を関係者が一丸となって考え、実践していく必要があります。課題を設定する上で、16年後の習志野がどのような姿になっているかを考えることが大切です。16年後と言えは、かなり先の話のように思えますが、今年生まれたお子さんが高校生になる、小学1年生が大学を卒業する、または社会人として社会に貢献する年代となる、さらに教職員は、新規採用者が3校目を経験し、学校の中核として活躍している、そんなイメージを持てば、近い未来でもあります。学校の教育活動では、今以上に教育DXが進むがゆえに、人と人とのつながりが重要視される、児童・生徒の可能性を広げ、伸ばす取り組みは学校の枠を超えた組織やシステムで取り組まなければならない、教師の役割が細分化され、さらに専門性が求められる一方で学校教育に関わる人材は多様化する、そんな未来が間違いなくやってくるはずです。だからこそ、人と人との関わりやつながりで人を育て、支えていかないと教育は成り立たなくなります。今を生きる者の責任として、将来の展望を想像し目標を設定することが求められます。

そこで、本年度の教育委員会行政方針の目標(今年1年間の施策展開のテーマ)を

「つながりが 未来を創る 習志野の教育」といたしました。

「つながり」という言葉には、児童・生徒同士、児童・生徒と教師、教師同士、学校と保護者・地域、生涯学習における市民と教育行政など、あらゆる「つながり」が人を育て高めていけるものと考えております。「つながり」の大切さはコロナ禍を経験した私たちだからこそ実感できるものであります。この「つながり」を重視する教育を通して「多彩で豊かな交流」を支えてまいります。

そこで「つながり」を具体的にとらえて実践していくために、次の3つの視点で生涯学習、学校教育に取り組んでまいります。

1 次世代の担い手を育てる教育・人づくり

- ・ 教育DXの活用とともに、「発問・板書・ノート指導」を発展させた「習志野学びモデル」の構築
- ・ 児童生徒指導課の新設による、いじめ問題への迅速な対応(関連法令とガイドラインを周知徹底・法務相談の活用と組織対応)と不登校問題への積極的な施策展開
- ・ 持続可能な宿泊自然体験学習の構築(新たな実施場所の決定と富士吉田青年の家の活用)

2 誰もが生涯にわたって活躍できる社会づくり

- ・ 生涯学習におけるライフステージに応じた各種イベント・講座の企画・実施
- ・ 学校と連携した「子ども読書活動推進計画」の実践
- ・ 第一カッターフィールド(秋津サッカー場)のリニューアルオープンによる利用(活用)の拡大

3 みんなで人を育てる体制・環境づくり

- ・ 学校運営協議会のさらなる情報発信と地域学校協働活動の推進
- ・ 中学校部活動における、学校を核とした休日の地域展開の検証事業の継続
- ・ 鷺沼小学校の移転建替工事に向けた準備と藤崎小学校の長寿命化改修工事に向けた設計
- ・ 教職員の健康を守る、業務改善と信頼される教育活動の推進
- ・ AIデジタルドリルの活用や給食費の一部公費負担による保護者の経済的負担の軽減

他にも新たな施策に取り組めます。本年度も本市の教育活動に、ご理解ご協力をお願いいたします。



新任 校 園 長 先生 決 意・抱 負

実 籾 小 学 校

校 長 荒 川 恵 美

〈「交流・循環型」で

魅力的な人づくりを〉

里山の風景を大事に守り、地域コミュニティの醸成が活発な土地にある本校に校長として着任できたことは大変光栄です。地域の方からのフキは、爽やかな土と春の香りがしました(写真)。児童と地域の方との交流を好循環させた教育課程を特色とし、人づくりを進めてまいります。児童が、自然と触れ合いどんな言葉を紡ぐのか楽しみです。



鷺 沼 小 学 校

校 長 寺 嶋 耕 一

〈鷺沼小で取り組む

3つの【C】〉

これまでの経験を糧に

【connect (つながる)】

【clean (きれいに)】【change (変える)】

3つの【C】を学校経営のキーワードとして、鷺沼小学校の児童が「明るく輝く」よう、教職員・保護者そして大応援団である地域の輪を大切にする学校づくりに邁進します。



袖 ヶ 浦 西 小 学 校

校 長 大 津 真 紀

〈袖ヶ浦西小から

「笑顔と活気」を発信!〉

「笑顔と活気があふれる学校」を目指し、児童一人ひとりを大切にしながら、伝統を生かしつつ、児童も教職員も新たなことに「挑戦」していきます。さらに「袖ヶ浦西小学校分教室」「日本語指導教室」では、児童の思いや気持ちに寄り添い、一步一步前へ進むことができる教室経営をしてまいります。



袖 ヶ 浦 東 小 学 校

校 長 深 作 拓 也

〈児童の笑顔があふれる学校〉

私は、児童がまっすぐ、健やかに成長していくためには、「希望あふれる笑顔で登校し、充実感の満ちた笑顔で下校する」学校を作ることが大切と考えます。そのためにも、本校の学校教育目標の副題にもある「すべてはこどもたちの笑顔のために」を強く意識し、「チーム学校」の核として、児童の笑顔があふれる学校づくりに全力を尽くしてまいります。



藤 崎 小 学 校

校 長 梶 倉 克 也

〈笑顔と感動の溢れる学校〉

私の夢は、学校に関わる児童、保護者、職員、地域の方々が「この学校で良かった」と言える「笑顔と感動に満ち溢れた学校」にすることです。心身ともに健康で、親友を大切に、辛抱強く様々なことに取り組み、自信をもって毎日の生活が送れるように職員全員で手を取り合い、保護者・地域とも連携し、尽力していきます。



向 山 小 学 校

校 長 菅 谷 茂 良

〈笑顔にあふれ 活気のある学校に〉

「学びの実感」

「あたたかな心の実感」

「成長の実感」の3つを実感で

きる教育活動を推し進め、今年度の重点目標である「笑顔にあふれ 活気のある学校づくり」の実現に向け、鋭意努力してまいります。

そして、児童、保護者、教職員が誇れる学校を目指してまいります。



第 五 中 学 校

校 長 江 住 敏 也

〈すべては生徒の

健やかな成長のために〉

本校の校訓に掲げた「友愛 自主 創造」の下、より深く相手を思いやり、自らの考えに基づいて行動し、新たな価値観を創り出す生徒を育成し、地域からも愛される学校づくりを目指してまいります。すべては生徒の健やかな成長のため、教職員が「チーム五中」として一丸となり全力で取り組む所存です。



習 志 野 高 等 学 校

校 長 山 森 一 輝

〈市民、地域に愛される

習志野高校を目指して〉

令和9年度、創立70周年を迎える本校の同窓生数は、24,600名余りにのぼります。その多くが県内はもちろん、全国でも活躍している伝統校であります。「習志野の王冠たれ」「雑草の如く逞しく」という「習高精神」を具現化し、生徒を育み、これからは市民、地域に愛される習志野高校を目指し、全力で取り組んでまいります。

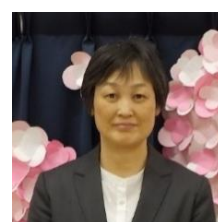


谷 津 幼 稚 園

園 長 津 賀 葉 子

〈こどもの笑顔願って〉

「幼稚園はどんなところ?」とドキドキしながら登園するこどもたちが、「幼稚園は楽しい」と思える場所となるよう、安心できる雰囲気づくりと、こどもの「やってみよう」を支える環境づくりに努めてまいります。近隣の幼児施設、小中学校や地域の方々そして保護者とのつながりも大切にし、職員皆で力を合わせて園づくりを進めてまいります。





新任教頭先生の決意・抱負

谷津小学校

教頭 西林 菜奈子

〈希望の登校 笑顔の下校〉
を目指して〉



市内一大きな学校に着任し、責任の重さを感じています。教頭として広い視野をもち、学校・地域・保護者の関わり合いを大切にしていきます。また、児童も教職員も安心して「自分らしく」輝ける場所となるよう、毎日笑顔を絶やさずに支え導いていきます。

大久保東小学校

教頭 高橋 文樹

〈みんなで育てる大東小〉



大久保東小学校の全児童が、心も体も、よりよく育っていくために全力で働いていきます。児童を地域全体で見守っていただけるように、地域と活気のある関係をつくります。そして、全職員が健やかに働くことができる、働きがいのある職場の環境をつくることで、質の高い指導を目指します。どうぞよろしくお願いいたします。

東習志野小学校

教頭 大山 まゆみ

〈教頭としての思い〉



これまで、たくさんの教頭先生にお世話になってきました。様々な御指導をいただき、大変ありがたく思っております。今度は自分が教頭として着任することになり、責任の重さを感じています。児童、保護者、地域をつなぐ架け橋となるよう、そして風通しのよい職員室にしていけるよう、元気と笑顔で努めてまいります。

秋津小学校

教頭 小泉 陽

〈「仲間と支え合う温かな学校へ」〉



教頭として、相手を思い仲間と支え合う温かな組織づくりを推進します。規律を守り、自ら考えて行動する姿勢を大切にしながら、何事にも挑戦することをもちを育みます。教職員と一丸となり、変化の激しい時代を強い心と体で豊かに生きる力を養うため、日々の職務に全力を尽くします。

谷津南小学校

教頭 高田 聡

〈誰もが安心していられる
谷津南小をめざして〉

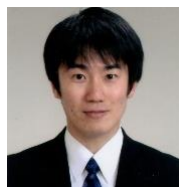


本校の学校教育目標「未来を紡ぐ子ども ～みんな なかよく みらいにむかって～」の中に、「紡ぐ」という言葉があります。まずは、私が教職員や児童、保護者、地域の方々の言葉や想い、人間関係などを丁寧に紡ぎ、児童が未来に向かって羽ばたいていけるよう学校作りに努めます。

第一中学校

教頭 白神 和幸

〈伝統を受け継ぎ、
未来へつなぐ学校づくり〉



本年度より教頭として着任いたしました白神和幸です。生徒一人ひとりが安心して学び、職員がやりがいをもって力を発揮できる学校づくりを目指し、ウェルビーイングの向上に努めてまいります。第一中学校、創立八十周年の伝統と歩みを大切に受け継ぎながら、地域とともに未来を拓く学校運営に全力で取り組む決意です。

第四中学校

教頭 北原 健二

〈学校と地域をつなぐ決意〉



令和8年度より教頭として着任いたしました。明るく元気な四中生の姿に大きな可能性を感じています。その良さをさらに伸ばすため、教職員が一丸となりチームワークを高め、生徒たちを力強く支えてまいります。また、地域との結びつきの強さを生かし、学校と地域をつなぐ橋渡し役として、共に学校づくりを進め、より活気のある学びの場の実現に努めてまいります。

第七中学校

教頭 野口 博通

〈「合い」を大切に〉



今年度、3年ぶりに学校現場へ戻ってまいりました。これまでと違うのは教頭という立場になったことです。この大役を務めるにあたり、第七中学校をよりよい学校にするという強い決意をもって尽力していきます。先生方と学び合うこと、高め合うことを大切にして、日々の業務に取り組んでまいります。

習志野にやってきた
新たな風

新規採用教職員

の意気込み

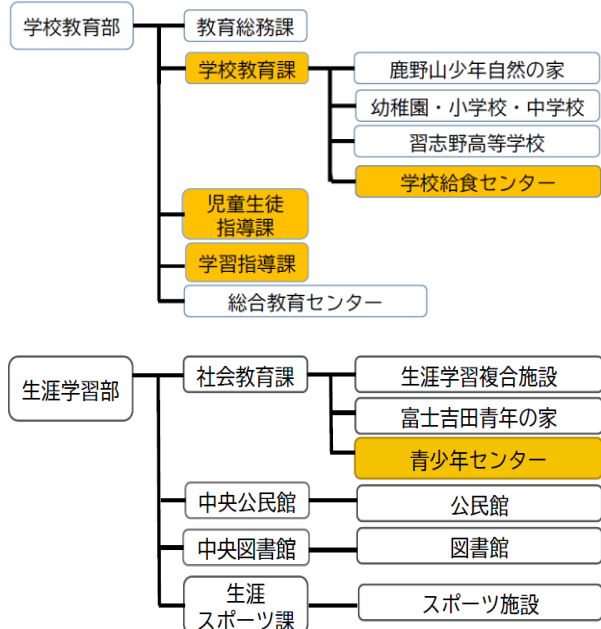
津田沼小 教諭 藤城 航太 何事にも全力で取り組み、児童が楽しく、安心して学校に通えるように頑張っています。	津田沼小 教諭 川下 己愛 児童の笑顔を大切にしながら、共に学び、共に成長できるように頑張ります。	大久保小 教諭 中村 圭佑 児童が様々なことにチャレンジできるよう、支援を行っていきたいです。
大久保小 教諭 上町 来未 児童の良さを見つけ伸ばし、自信につなげることができるように取り組みたいと思います。	谷津小 教諭 時田 歩武 失敗してもみんなで助け合い、何事にも果敢にチャレンジすることができる学級をつくりたいです。	谷津小 教諭 田口 莉子 児童とたくさん関わりながら、笑顔あふれる毎日の中で共に学び合い、成長できる教員を目指します。
谷津小 教諭 宗像 妃那 どんな時でも笑顔を忘れず、一人ひとりに寄り添い、安心できる環境づくりに全力を尽くします。	鷺沼小 教諭 中田 芽生 児童一人ひとりの良さを大切にし、安心して学び、挑戦できる学級づくりを目指します。	鷺沼小 教諭 堀 佑樹 他県での教職経験を糧に、児童の夢を支え、先生方の力になれるよう、精一杯努めてまいります。
実籾小 教諭 鬼澤 茜 常に児童のことを最優先に考え、誰からも信頼される教師になることを目標とし、頑張っています。	大久保東小 教諭 田中 湧朔 自分の経験や知識を駆使して、こどもたちの可能性を最大限に引き出すことができるよう頑張ります。	大久保東小 教諭 鈴木 あかり 一人ひとりと丁寧に向き合い、児童が安心できる居場所となるような学級経営を目指します。
袖ヶ浦西小 教諭 岡野 菜々葉 児童一人ひとりの自分らしさを大切にし、安心して挑戦できる温かい学級づくりに努めてまいります。	東習志野小 教諭 村田 華 児童と保護者との信頼関係を築き上げ、寄り添うことのできる教員を目指します。	東習志野小 教諭 屋比久 愛佳 安心とやさしさに満ちた学級をつくり、児童の可能性をひきだす教師を目指します。
東習志野小 教諭 古賀 瑞季 東京都から参りました。児童が学びたいと思える授業づくりを目指します。	袖ヶ浦東小 教諭 安藤 彰吾 児童のもつ可能性を信じ、共にチャレンジをして成長し続けることのできる教員を目指します。	屋敷小 教諭 小山 悠月 児童が安心して生活できるように日々の言葉かけを積極的に行い、一人ひとりに寄り添いながら頑張っています。
屋敷小 教諭 坂本 菜摘 児童にとって安心できる学級づくりを目指し、信頼関係を大切にしながら、楽しく学び、ともに成長していきたいです。	藤崎小 教諭 佐藤 柚良 児童一人ひとりの「思い」を大切にし、学校が楽しいと思ってもらえるよう努めます。	藤崎小 教諭 藤野 綾子 「学校って、楽しい！」と児童が思えるように、教員としての研鑽を日々積んでいきたいと思っています。

実花小 教諭 四方 涼太 習志野市の児童の笑顔のために、一人ひとりに寄り添い、情熱を持って全力で頑張ります。	実花小 教諭 友常 雅音 お世話になった習志野市で、音楽を通して児童と笑顔あふれる時間を作っていけるよう努めます。	向山小 教諭 西宮 季里夏 日々学びながらわかりやすく楽しい授業を目指し、こどもたちとともに成長してまいります。
向山小 教諭 茂利 樹 児童一人ひとりに寄り添って、可能性を引き出し、共に成長し続ける教員を目指します。	秋津小 教諭 金澤 朝美 児童一人ひとりの思いや可能性に寄り添い、主体的に学び続ける力を育て、笑顔と挑戦があふれる教室をつくる教師を目指します。	香澄小 教諭 阿部 雅樹 児童の心に寄り添う伴走者でありたい。一人ひとりの声を聞き、共に成長する教員になります。
谷津南小 教諭 飯田 颯斗 思いやりの心を大切にし、児童一人ひとりに寄り添えるような教員を目指します。	谷津南小 教諭 市原 諒人 学級の児童が三月に一年を振り返って、楽しかったと思えるクラスを目指します。	第一中 養護教諭 金子 菜緒子 生徒の笑顔を増やすため、安心できる学校生活を送れるよう、元気に明るく保健室から支援していきます。
第一中 教諭 小林 希美 生徒が学校を楽しい、安心できると感じられる居場所づくりを目指します。また、笑顔を大切に励んでいきます。	第一中 教諭 野瀬 文愛 地元千葉の力になれるよう、守破離を胸に学び続けます。分かりやすい授業と部活動で、信頼を築いていきます。	第一中 教諭 保立 まり子 新規採用となりました保立まり子と申します。児童との関わりを通して教員として成長していけるよう、日々努力をしていきたいと思ひます。
第二中 教諭 鎌田 真理子 生徒一人ひとりの個性を尊重し、寄り添うことができる教員になれるよう頑張ります。	第二中 主事 西坂 綾耶奈 他の教職員や地域と共に、児童が安心して学べる環境づくりに取り組んでいきたいです。	第三中 教諭 石部 千晶 生徒一人ひとりの心に寄り添い、悩みや課題の解決の支援ができる教員を目指します。
第四中 教諭 森 凜 生徒の「わからない」を一つでも多く「わかる」にできるように一人ひとりに寄り添い、生徒の夢や希望を後押しできる教員を目指します。	第四中 教諭 渡邊 亮 自分が教育を受けた習志野で教員になることができ、とても嬉しく思っております。生徒一人ひとりに寄り添う教育を心がけてまいります。	第五中 教諭 刈部 裕基 私は教職員として、子供たちにとってプラスの影響を与えることができるような存在になりたいと考えています。
第五中 養護教諭 石井 伶依 生徒一人ひとりに寄り添い、安心できる保健室づくりに努め、心と体の健康を支える養護教諭を目指します。	第六中 教諭 石井 健登 私は、自ら問いを立て、学びを追及していける児童を育てるために、主体性を発揮できる授業を心がけていきます。	第七中 教諭 石田 由佳 生徒が生き生きと学校生活を送れるよう、一人ひとりの思いに寄り添い、ともに成長していける教員を目指します。
第七中 教諭 山下 凌空 生徒一人ひとりに寄り添うことで、生徒にとって安心できる拠り所となれる教師を目指します。	習志野高 教諭 安谷屋 朱里 生徒一人ひとりの主体性を尊重し、夢の実現に向けて共に歩む伴走者でありたい。誠実に向き合い全力を尽くします	



機構改革

児童生徒指導課を新設し、いじめ・不登校問題などを専任に対応します。これに伴い、部内各課の担当事務を見直し、学務課を学校教育課に、指導課を学習指導課に名称変更します。青少年センターは学校教育部から生涯学習部に所管変更します。



新設課 児童生徒指導課の取り組み

『専任課』だからこそできる、『即時対応』

いじめ事案等の報告があった場合、学校の要請に応じて、**即時対応**いたします。また、課内で**主体的に判断**して学校訪問等を積極的に行い、**問題の早期発見**、**迅速な初期対応**につなげていきます。

学校のニーズに応じた生徒指導研修の実施

各校の要請を受け講師として、校内研修を実施します。ミニ事例研修、未然防止観察ポイント研修等、**コンパクト**でありながら**実践的で効果的な研修**を行います。

不登校児童生徒支援のための取組

不登校児童生徒のための**安全で安心**な場の充実を図ります。**主体的に**各学校を訪問し、学校からの**ヒアリング**を元に、**段階的な登校計画**や**ミニ目標**などの提案を行います。

積極的な法務相談の活用推進

学校が専門家に相談したいと考えられるケースを「**法務相談使いどころリスト**」としてまとめることで、**積極的な法務相談**の活用を推進します。

定期的な訪問相談＋α

毎学期1回、各学校への定期的な訪問相談に加え、**要請に応じた訪問相談**を行います。学校が抱える問題や課題に対して、指導主事が**継続的に訪問**することを通して、**課題解決に向けたサポート**につとめてまいります。

文責 児童生徒指導課 奥山

習志野市芸術文化協会 第42回 芸術祭

令和8年度の芸術祭が開催されました。

4月9日から11日にかけて、習志野市庁舎にて絵画・書道・華道・陶芸・写真などの展示や茶道のお茶席が設けられ、来場者は数々の作品を楽しみながら、文化に親しむひとときを過ごしました。

4月18日、19日には、奏の杜フォルテ会場にて陶芸品チャリティーバザーが催され、会場は多くの来場者で賑わいました。19日に開催された「春の祭典2026」では、美しい歌声と和洋様々な楽器の音色が響き渡り、華やかな雰囲気になりました。

(文責：社会教育課 平野)



(市庁舎展示の様子)



(春の祭典2026の様子)

袖ヶ浦剣道同好会 京葉ラグビーフットボールクラブ 表敬訪問

3月13日表敬訪問が行われ、袖ヶ浦剣道同好会と京葉ラグビーフットボールクラブが来庁しました。

本市を活動拠点とする小学生剣道の「袖ヶ浦剣道同好会」が、第45回千葉県スポーツ少年団剣道交流大会兼第48回全国大会予選会の団体戦で優勝し、全国大会に出場することを受け、表敬訪問を行いました。

【主将：鳶津奈子さん（袖ヶ浦東小学校） 全国大会への意気込み】
全国大会に向けて更に稽古に取り組んでいます。たくさんの方々に応援してもらっているので全国大会という場所で自分たちの力を発揮できるように仲間を信じて一つでも多く勝ちたいです。頑張ります。



本市を活動拠点とする、「京葉ラグビーフットボールクラブ」の小学部が、1月11日から12日に行われた全国大会「第18回大樹生命ヒーローズカップ」で準優勝したことを受け、表敬訪問を行いました。

【副キャプテン：近藤航さん（東習志野小学校）全国大会を終えて】
決勝までチーム一丸で闘うことのできた達成感で不思議と清々しい気持ちでこの大会を締めくくることができました。間違いなく成長できたと、この貴重な経験は、今後のラグビーにも活かしていきます。



第30回少年野球新人大会（兼） 第46回習志野市スポーツ少年団軟式野球大会

3月20・21・22・28日と少年野球の新人大会（兼）スポーツ少年団軟式野球大会が開催されました。

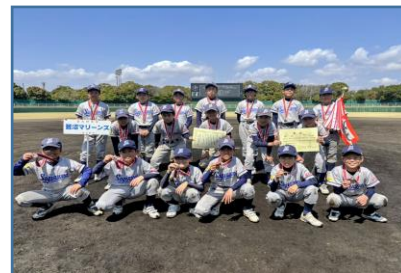
3月20日～22日・28日に、第30回少年野球新人大会（兼）第46回習志野市スポーツ少年団軟式野球大会が開催されました。この大会は新6年生にとっての最初の公式市内大会となります。激戦を勝ち抜き、見事優勝を果たした習志野フェニックスは、第46回全日本学童軟式野球大会千葉県予選大会に出場。準優勝の実籾・袖ヶ浦連合と第3位の鷺沼マリーンズは、第48回千葉県スポーツ少年団軟式野球交流大会に出場することとなります。



優勝：習志野フェニックス



準優勝：実籾・袖ヶ浦連合



第3位：鷺沼マリーンズ

第一カッターフィールド リニューアル

第一カッターフィールド(秋津サッカー場)の人工芝化工事が完了し、4月1日からリニューアルオープンしました。

人工芝化により利用方法が拡大し、多くの方が年間を通して、気軽に多様なスポーツやイベントを楽しむなど、スポーツに親しむ機会を提供できればと思います。

ぜひご活用ください。

